



# あかりの競演

## ラリックとドーム兄弟

2018年12月22日(土)～2019年3月17日(日)

### 心も灯す、あたたかな光のコラボレーション。

このたび箱根ラリック美術館では、来る12月22日より「あかりの競演 ラリックとドーム兄弟」を開催します(2019年3月17日まで)。

今から100年ほど前の1920年代に、ようやく一般家庭に普及した電気照明。はじまりは、1879年、発明家エジソンが改良を重ねた白熱電球の登場でした。

ガス灯から電灯への変化にいち早く反応し照明器具を手掛けたドーム兄弟は、この分野で芸術的にも商業的にも成功をおさめ、1900年に開催されたパリ万国博覧会のガラス部門でグランプリを獲得。アール・ヌーヴォー様式や、アール・デコ様式など、時代の流れに応じた作品を次々と世に送り出しました。

一方ラリックも、ガラス工芸家へ転身した後、照明器具に意欲を燃やしました。間接照明の柔らかな光を活用してモチーフを浮かび上がらせるなど、透明ガラスの魅力を生かしたものづくりに力を注ぎ、

1925年の現代産業装飾芸術国際博覧会では、高さ15mにもなるガラスの噴水塔を制作。電気照明と水を効果的に使用した夜のイリュージョンとして観るものを圧倒したのです。

時流を読み、作品やスタイルを変え、常に新しいものを生み出し続けたラリックとドーム兄弟。その柔軟な姿勢と飽くなき探究心に支えられたブランド力は衰えることなく、ラリック社は今年で130年目を、ドームはドームクリスタルとして140年目を迎えます。

本展では、ラリックとドーム兄弟の時代を照らした照明器具の数々をご紹介します。100年にわたって人々の暮らしと心を灯し続けたあかりの競演をどうぞお楽しみください。

本展の開催のニュースをご紹介しますよう、謹んでお願い申し上げます。



#### 企画展限定スイーツが登場!



パナリアイスであかりを表現した大人のスイーツ  
「あかり ～オレンジと温かい赤ワインの  
スープ スパイスを効かせて～」

#### ルネ・ラリック René Lalique (1860-1945)

アール・ヌーヴォーからアール・デコへの架け橋となったフランスを代表する芸術家、ルネ・ラリック。16歳で宝飾職人に弟子入りした彼は、すぐにその才能を開花させ、22歳でカルティエなどの一流宝飾店から仕事を依頼されるように。1900年のパリ万博で発表したジュエリーは見事グランプリを受賞し、一躍その名を轟かせました。その後、コティの香水瓶をきっかけにガラス工芸家へ転身。オリエント急行や豪華客船ノルマンディー号の室内装飾など、幅広いジャンルで独創性あふれる作品を手がけ話題を呼びました。

#### ドーム兄弟 Daum Frères

兄オーギュスト(1853-1909)と弟アントナン(1864-1930)の二人。父ジャン・ドーム経営のガラス工場に携わる。元々は日常的なガラス食器等を製造していたが、1889年パリ万博でのエミール・ガレの成功に触発され、美術工房を設立、アール・ヌーヴォーを代表する工房となる。独自の装飾技法を開発し高水準の作品を数多く制作した。

開館時間:9:00～17:00 (※年中無休/美術館入館は16:30まで)

入館料:大人1500円/大・高生・シニア(65歳以上)1300円/中学生・小学生800円

所在地:神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL:0460-84-2255

箱根ラリック美術館公式サイト [www.lalique-museum.com/](http://www.lalique-museum.com/)

【お問い合わせ】箱根ラリック美術館 (広報担当:杉山、古川) TEL:0460-84-2255

2018年12/22～2019年3/17 箱根ラリック美術館にて開催